

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション・ビジョン

「記憶」の技術をコアとして、一人ひとりの新たな未来を実現できる製品やサービス、仕組みを提供する

世界ビット生産量シェア
29%

② 中長期の経営戦略

1. SSD&ストレージ戦略

データセンター・エンタープライズSSD市場での高シェア確保。PCI e®5.0・NVMe™対応製品の早期投入、第8世代BiCS FLASH™市場投入によるシェア拡大を目指す

3. スマートデバイス深化

1台当たりのフラッシュメモリ搭載量増加に対応。BiCS FLASH™の大容量化・積層化・量産化推進でスマートフォン市場シェア維持

2. クライアントSSD展開

2020年買収のSolid State Storage Technology Corporationの開発リソースと融合。AI搭載エッジデバイス向けクライアントSSD市場の拡大に対応

4. 生産体制強化

四日市工場・北上工場の生産能力強化。製造過程でのAI活用、棟間搬送駆使で生産効率向上。ギガバイト当たりコスト削減推進

③ 対処すべき課題

① 市場構造変化への対応

- ・ AI用途でのデータセンター向け大容量SSD需要の急速成長に対応
- ・ スマートフォン出荷台数伸び悩み、容量増加での相殺対応
- ・ オンデバイスAI普及による1台当たり搭載容量の大幅増加対応

② 競争激化と価格圧力

- ・ 競合他社の大容量化・供給増加に伴う継続的な価格下落
- ・ 単位記憶容量あたり販売価格の一定レベル下落傾向対応
- ・ 市況の周期的な需給変動での市場シェア獲得競争

③ 経済環境リスク管理

- ・ 先進国高金利政策、新興国不動産低迷の影響把握
- ・ 米国関税などの地政学リスク対応
- ・ PC・スマートフォン顧客の在庫調整による需要変動対応

面接で使えるポイント

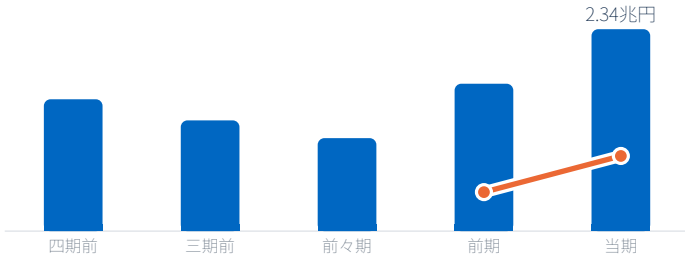
- ・ 1987年にNAND型フラッシュメモリを世界初発明、1991年量産開始。
- ・ Sandiskグループと合わせて世界最大級29%のビット生産量シェア保有。
- ・ AI・クラウド・5G・IoT普及に伴うデータ量急増で、2023年以降データセンター向けSSD需要が堅調に伸長。

キオクシアホールディングス株式会社

電気機器 | プライム（内国株式） | 決算期 3月末日 | 連…

証券コード 285A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.34兆円

営業利益率
37.2%

財務健康度
63点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 67.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,307万円

電気機器内 4位/225社

平均年齢

46.2歳

電気機器内 35位/225社

平均勤続

13.9年

電気機器内 157位/225社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: キオクシアホールディングス[285A]：コーポレート・ガバナ

キオクシアホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

